

報告第12号

公益財団法人豊川市国際交流協会の経営状況について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定に基づき、公益財団法人豊川市国際交流協会の経営状況について、別冊のとおり報告する。

平成28年8月25日提出

豊川市長 山 脇 実

公益財団法人豊川市国際交流協会経営状況報告書

平成 2 7 年 度 事 業 報 告

豊川市国際交流協会は、平成 2 年 4 月 1 日の設立以来、国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図ってきました。

平成 2 4 年 4 月からは、愛知県から公益認定を受け、公益財団法人として新たな一歩を踏み出すこととなりました。

こうした中、平成 2 7 年度は、協会設立 2 5 周年記念事業や功労者表彰を行うとともに、引き続き、国際理解を深めるための交流事業や各種講座、在住外国人の生活などを支援するための日本語教室、相談等、多文化共生社会づくりのための事業を実施しました。

今後も、ボランティアや関係団体の方々との連携を密にし、公益性を活かしながら時代に即した事業を展開して、外国人を含めた市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。

公益目的事業 1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を深めました。

①オイスカ（O I S C A）中部日本研修センター青年研修生との交流会

日 時 平成 2 7 年 6 月 1 2 日（金） 午後 6 時～7 時 3 0 分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 4 1 人（このうちオイスカ研修生 8 人、指導員 1 人）

内 容 日本の農業技術を習得するためにオイスカ中部日本研修センターに滞在している開発途上国の青年研修生と指導員を招き、ひまわり農業協同組合の協力を得て、カントリーエレベーターやトマト集出荷場を始め市内の農業施設を見学したのち、本協会の会員との交流会を行い、相互の友好と親善を図りました。

②七夕交流会

日 時 平成 2 7 年 7 月 4 日（土） 午後 1 時 3 0 分～3 時 3 0 分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

参加者 7 1 人（このうち外国人 2 7 人、子ども 1 3 人）

内 容 この地域に住む外国籍の子どもたちと一緒に、日本の伝統行事「七夕」にふれながら、交流を図りました。七夕飾りづくり、ゆかたの試着などを行いました。

③お月見交流会

日 時 平成27年9月27日(日) 午後6時30分～8時
場 所 市勤労福祉会館 西側玄関前
参加者 149人(このうち外国人46人、子ども22人)
内 容 この地域に住む外国人市民等を対象に、日本の伝統行事「お月見」にふれながら、交流を図りました。月明かりの中、キャンドルづくり、お団子づくり、ジャズ演奏、マレーシアダンス、絵本の朗読などを行いました。

④ワールドフェスティバル2015

日 時 平成27年11月29日(日) 午後0時40分～4時
場 所 市勤労福祉会館 大研修ホールほか
参加者 600人超
内 容 この地域に住む外国人市民と日本人市民とが、音楽や踊りなどを通して、相互の親睦と国際理解を深めました。また、中国雑技を招へいたほか、「協会25年の歩みパネル展」や「世界のおやつ」、「功労者表彰」などを行いました。

⑤節分&折り紙交流会

日 時 平成28年1月31日(日) 午後1時30分～3時30分
場 所 市勤労福祉会館 まつ・さつき
参加者 80人(このうち小学生1人を含む外国人17人)
内 容 本年度は、節分交流会と折り紙交流会を合同で行い、この地域に住む外国人市民と日本人市民に、折り紙や節分を紹介する中で、歌、三味線・オカリナ演奏を披露するとともに、諏訪地区のイメージキャラクター「すわポン」といっしょに豆まきなどをして、相互の交流と国際理解を深めました。

⑥愛知万博10周年記念イベント「一市町村一国フレンドシップ メモリアルフェスタ」への参加

期 日 平成27年9月26日(土)・27日(日)
場 所 愛・地球博記念公園
参加者 28人(延べ31人)+出演者2人
内 容 愛知県が開催した愛知万博開催10周年イベントに参加しました。ブースではチェコ共和国との交流の様子のパネルを展示し、チェコビ

ールを販売しました。また、ステージではチェコ出身の音楽家ダニエル・フォルローさんと豊川市出身のオペラ歌手大須賀関雄ケネスさんが出演したことから、本協会会員が協力して応援しました。

⑦ホームステイによる外国人研修生との交流

ア 期 間 平成27年10月16日(金)～18日(日)

受入れ人数 18人(大学生18人)

受入れ家族 7家族

内 容 日本国際協力センター(JICE)が実施した青少年交流事業「JENESYS2015」で来日したアセアン各国と東ティモールの大学生のホームステイを受け入れました。

イ 期 間 平成28年2月19日(金)～21日(日)

受入れ人数 19人(大学生18人、引率者1人)

受入れ家族 9家族

内 容 日本国際協力センター(JICE)が実施した青少年交流事業「JENESYS2015」で来日したカンボジア大学生のホームステイを受け入れました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるために、ゲームや野外活動を通して外国人との交流を行い、相互理解を図りました。

①キッズワールドサマースクール

日 時 平成27年7月26日(日) 午前8時30分～午後4時45分

場 所 鳳来寺山周辺、旧鳳来寺高校体育館、旧門谷小学校講堂(新城市)

対 象 小学校4年生～6年生

参加者 55人(このうちスタッフ10人、外国人7人)

内 容 子どもたちの国際化への関心を深めるため、鳳来寺山へのハイキングやゲーム、スイカ割りなどを通して外国人ゲストとの交流を図りました。

②マレーシア児童・生徒受け入れ事業

期 間 平成27年12月11日(金)～14日(月)

来日生徒 14人(中高生8人、引率者等6人)

内 容 マレーシアジュニアフレンドシッププログラム in 2015で来日した中高生らを受け入れ、ホームステイや御津高校での授業体験などで、交流を図りました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化に関心のある市民を、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、ボランティア活動の紹介を行いました。また、地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動の活性化に向けて支援しました。

①日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録

機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

②協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について話し合う意見交換会

毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。

開催回数 12回

③市民まつり「おいでん祭」への参加

期 日 平成27年5月23日（土）・24日（日）

場 所 市野球場

内 容 協会事業や各部会の活動をパネルでの紹介、南アメリカの伝統料理や飲み物の販売、民族衣装の展示・試着、南アメリカの伝統的な踊り（ステージ）、音楽演奏（ブース）、ネパール大地震被災者支援募金活動などを行いました。

(2) 国際理解講座の開催等

人権、環境、多文化共生、平和など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会、演奏会を行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

①国際理解講演会等の開催

ア 国際理解講演会

日 時 平成27年6月21日（日） 午後1時30分～3時30分

場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講 師 川村 範行さん（名古屋外国語大学特任教授）

参加者 59人

内 容 「中国を知る～ジャーナリストが見る現在の中国と今後の日中交流～」をテーマに、今の中国の社会情勢や日中関係について学びました。

イ 多文化共生防災講座

日 時 平成27年11月14日(土) 午前10時～正午
場 所 市勤労福祉会館 第2会議室
講 師 市消防本部防災対策課職員
参加者 38人(このうちブラジル8人、中国7人、ベトナム2人)
内 容 「地震が起こった時、何をすればいい?～避難所・非常食・防災グッズ～」をテーマに、この地域に住む外国人市民と日本人市民が、地震についての講話を聴くとともに、簡易な防災グッズづくり、備蓄非常食の調理方法などを学びました。

②世界の料理教室の開催

世界の食文化を理解するため、これまで様々な国の料理の作り方を学んでいます。今年はマレーシアの家庭料理の作り方を学び、その国の食文化に接しながら国際理解を深めました。

日 時 平成27年10月31日(土) 午前10時～午後1時
場 所 市勤労福祉会館 調理実習室
講 師 ヌル・ザワティール・イシキ・ビンティ・ダウトさん
参加者 25人
内 容 マレーシア料理のパンダンリーフライス、マレーシアンマンゴーチキン、サラダ、スイーツを作りました。

③「第7回チェコの夕べ」の開催

愛・地球博で旧音羽町のフレンドシップ国であったチェコ共和国出身の音楽家などによる演奏会を開催することで、チェコ共和国についての理解を深め、音楽を通じた交流をすることができました。

日 時 平成28年3月18日(金) 午後6時30分開演
場 所 市音羽文化ホール
出 演 チェコ共和国出身のシュターミッツ四重奏団、平山昌子さん(ピアノ)
入場者 178人

④文化講座の開催

「どんな国シリーズ」として、2回開催し、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「ラオスってどんな国」

日 時 平成27年9月12日(土) 午後2時～4時
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
講 師 チャンタマート ソーダーさん(豊橋技術科学大学特任助教)
参加者 56人

内 容 ラオス出身の講師によるラオスの文化、生活習慣の紹介などを行いました。

イ 「メキシコってどんな国」

日 時 平成28年3月5日（土） 午後2時～4時

場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリオ 視聴覚室

講 師 チャムー・アリアス・コラルさん

参加者 39人

内 容 メキシコ出身の講師によるメキシコの文化や習慣の紹介などを行いました。

⑤日本語ボランティア フォローアップ研修の開催

日本語の教え方のポイントについて研修を行いました。

期 日 平成27年8月22日（土）・29日（土）

場 所 市勤労福祉会館 研修室

講 師 本多 章義さん（豊川市こぎつね教室コーディネーター）

受講者 39人（会員39人）

⑥日本語ボランティア養成講座の開催

日本語を教えるための基本的なこと、効果的な教材の使い方などについて学びました。

期 日 平成27年12月6日（日）・20日（日）

場 所 市勤労福祉会館 第2会議室

講 師 伏屋 由美さん（名古屋YWCA）

西尾 ナナさん（東海日本語ネットワーク）

受講者 48人（会員31人、一般17人）

(3) 姉妹都市等の交流

海外へ青少年を派遣し、異文化体験や交流、相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材の育成を図りました。

また、姉妹都市・友好都市との交流を支援しました。

①高校生海外派遣事業

豊橋市国際交流協会との広域国際交流事業により豊橋市の姉妹都市であるアメリカ合衆国トリード市のトリード大学を会場にして毎年、夏季に開催される「トリード インターナショナル ユースアカデミー」に市内在住の高校生を派遣し、英語での講義を受けたほか、各国青少年の文化交流への参加や、大学寄宿舎での生活体験を通じ、次代を担う青少年の国際的視野を広め、世界の同世代の若者たちとの友好と親善を深めました。

派遣期間 平成27年7月18日(土)～8月3日(月)(17日間)
派遣先 アメリカ合衆国オハイオ州トリード市
参加者 本市在住高校生4人(そのほか豊橋市在住の高校生6人と引率教諭1人)

②姉妹都市・友好都市との交流の支援

日時 平成27年6月26日(金) 午後6時～8時
場所 市民プラザ
参加者 11人
内容 豊川市が実施する姉妹都市アメリカ合衆国キュパティノー市中学生使節団歓迎会での支援

(4) 外国語講座

語学学習及び外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。英会話6講座、フランス語1講座、中国語2講座、スペイン語1講座を実施しました。

①英会話講座

- ア わかりやすい基礎英会話(入門)
平成27年5月19日～8月11日(受講者9人)
- イ やさしい英会話1(入門)
平成27年5月19日～8月4日(受講者24人)
- ウ わかりやすい初級英会話(初級)
平成27年8月25日～12月1日(受講者9人)
- エ やさしい英会話2(初級)
平成27年9月3日～11月19日(受講者16人)
- オ 英語で楽しいディスカッション(初中級)
平成27年12月1日～平成28年3月8日(受講者19人)
- カ 日本を英語で話してみよう!(中級)
平成27年12月8日～平成28年3月15日(受講者12人)

②フランス語講座

- ・ 初めてのフランス語(入門)
平成27年5月14日～8月20日(受講者7人)

③中国語講座

- ア 使える中国語1(初級)
平成27年8月20日～11月26日(受講者17人)
- イ 使える中国語2(初級)

平成27年12月3日～平成28年3月24日（受講者22人）

④スペイン語講座

- ・ 楽しくスペイン語（初級）

平成27年12月9日～平成28年3月16日（受講者7人）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人市民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、充実した日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催するなど日本語習得の機会を提供し、文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進しました。

①日本語教室の開催

ア 夜クラス

日本語習得を希望する外国人を日本語の能力別にクラス編成し、能力にあった日本語指導を行いました。

日 時 4月～3月の毎週土曜日 午後7時45分～9時（午後6時～7時30分補習あり）

場 所 市勤労福祉会館

受講者 延べ252人（38期（4月～7月）119人、39期（9月～3月）133人）

講 師 協会の部会員

内 容 入門から上級まで、20クラスに編成して、1期5か月（概ね20回）で修了し、年2回開講しました。

イ ひるまクラス

日本語を勉強したい人が多くの受講機会が得られるよう、前年度から引続いて午前中の教室を開講しました。

時 期 4月～3月の火曜日～木曜日 午前10時30分～正午

場 所 プリオビル

受講者 延べ55人（6期（4月～7月）29人、7期（9月～3月）26人）

講 師 協会のボランティア

内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで行い、1期5か月（概ね20回）で修了し、年2回開講しました。

②ひらがなしんぶん発行事業

市内在住の外国人家族を対象に「ひらがな」で、日本の風俗習慣などを中心に、生活に関わる情報を提供し、日本人との円滑な交流ができるようにすることを目的として毎月1回発行し、保育園、幼稚園、小・中学校、市図書館を通して配布しました。

発行回数 12回（毎月1回）

発行部数 760部／回

③豊川市日本語スピーチコンテスト（第6回）

豊川市に在住する日本語が母国語でない小学生以上の男女による日本語スピーチコンテストを開催し、日本での生活を通して考えたことや伝えたいことを発表することにより、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

日時 平成27年11月1日（日） 午後1時30分～4時

場所 市勤労福祉会館 視聴覚室

出場者 10人

・小、中学生の部 1人

・高校生以上一般の部 9人

なお、小、中学生の部から1人、高校生以上一般の部から4人が、東三河日本語スピーチコンテスト（平成28年1月17日（日）豊橋市公会堂で開催）へ出場しました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるように母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを実施して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

①小中学生学習支援クラス

日時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後2時～5時

年間36回開講

場所 主に市社会福祉会館（ウイズ豊川）

講師 専門講師及び協会ボランティア

登録者 9人

内容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

②アトリエ

日時 4月～3月の第1、2、3土曜日 午後6時～9時 年間41回開催

場所 主に市社会福祉会館（ウイズ豊川）

参加者 20人（小・中学生）

講 師 協会部会のボランティア

内 容 ラテンアメリカの民族舞踊を教えることで、子どもたちに母国の文化の伝承と意識づけを図りました。

(3) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

①スペイン語、英語、中国語による生活相談及び情報提供

・相談件数 167件

(4) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共生社会づくりに寄与しました。

①個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

通年にわたり、英語、中国語、スペイン語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

①機関誌「We」の発行

発行回数 年3回（5月・9月・1月）

発行部数 1,400部/回

(2) 広報とよかわ「インフォーマ」スペイン語・ポルトガル語版翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供しました。

①「インフォーマ」の翻訳

発行回数 年12回

発行部数 1,800部/回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

①ホームページでの情報提供

通年で、ホームページを活用して、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

附属明細書

平成27年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

決算報告

貸借対照表

平成28年3月31日現在

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,067,960	2,993,049	△ 1,925,089
流動資産合計	1,067,960	2,993,049	△ 1,925,089
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	214,000,000	214,000,000	0
定期預金	1,750,000	1,750,000	0
基本財産合計	215,750,000	215,750,000	0
(2) その他固定資産			
什器備品	2	22,032	△ 22,030
その他固定資産合計	2	22,032	△ 22,030
固定資産合計	215,750,002	215,772,032	△ 22,030
資産合計	216,817,962	218,765,081	△ 1,947,119
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	191,922	123,192	68,730
前受金	158,200	274,100	△ 115,900
流動負債合計	350,122	397,292	△ 47,170
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	350,122	397,292	△ 47,170
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	215,750,000	215,750,000	0
(うち基本財産への充当額)	215,750,000	215,750,000	0
2. 一般正味財産	717,840	2,617,789	△ 1,899,949
正味財産合計	216,467,840	218,367,789	△ 1,899,949
負債及び正味財産合計	216,817,962	218,765,081	△ 1,947,119

正味財産増減計算書
平成27年4月1日～平成28年3月31日

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,857,803	2,782,525	△ 924,722
基本財産受取利息	1,857,803	2,782,525	△ 924,722
受取会費	2,457,000	2,521,000	△ 64,000
賛助会員受取会費	2,457,000	2,521,000	△ 64,000
事業収益	3,409,122	3,399,574	9,548
参加費等収益	3,251,122	3,184,574	66,548
雑収益	158,000	215,000	△ 57,000
受取補助金等	14,132,377	13,373,891	758,486
受取地方公共団体補助金	14,132,377	13,273,891	858,486
受取民間補助金	0	100,000	△ 100,000
受取寄附金	40,000	540,000	△ 500,000
受取寄附金	40,000	540,000	△ 500,000
雑収益	246,983	239,310	7,673
受取利息	2,080	5,506	△ 3,426
雑収益	244,903	233,804	11,099
経常収益計	22,143,285	22,856,300	△ 713,015
(2) 経常費用			
事業費	15,760,465	16,265,490	△ 505,025
役員報酬	510,480	452,160	58,320
給料手当	6,811,620	5,412,832	1,398,788
臨時雇賃金	1,301,696	1,301,896	△ 200
福利厚生費	1,120,139	1,769,475	△ 649,336
会議費	63,748	41,208	22,540
旅費交通費	360,580	343,960	16,620
通信運搬費	242,110	440,217	△ 198,107
減価償却費	22,030	22,032	△ 2
消耗品費	764,347	756,903	7,444
印刷製本費	561,124	964,761	△ 403,637
賃借料	400,404	1,385,787	△ 985,383
保険料	2,622	4,239	△ 1,617
諸謝金	1,864,744	1,321,420	543,324
支払負担金	1,466,140	1,618,200	△ 152,060
支払助成金	232,000	270,000	△ 38,000
委託費	19,440	149,040	△ 129,600
支払手数料	10,481	0	10,481
雑費	6,760	11,360	△ 4,600
管理費	8,282,769	6,464,603	1,818,166
役員報酬	2,041,920	1,808,640	233,280
給料手当	2,668,460	2,587,654	80,806
臨時雇賃金	325,424	325,474	△ 50
福利厚生費	758,907	803,591	△ 44,684
会議費	3,418	6,186	△ 2,768
旅費交通費	27,340	26,040	1,300
通信運搬費	179,494	145,981	33,513
消耗品費	166,720	187,740	△ 21,020
修繕費	10,800	11,340	△ 540
印刷製本費	54,540	23,382	31,158
燃料費	49,170	56,419	△ 7,249
賃借料	1,601,614	344,340	1,257,274
支払手数料	339,106	48,576	290,530
雑費	55,856	89,240	△ 33,384
経常費用計	24,043,234	22,730,093	1,313,141
評価損失等調整前当期経常増減額	△ 1,899,949	126,207	△ 2,026,156
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,899,949	126,207	△ 2,026,156
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,899,949	126,207	△ 2,026,156
一般正味財産期首残高	2,617,789	2,491,582	126,207
一般正味財産期末残高	717,840	2,617,789	△ 1,899,949
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	215,750,000	215,750,000	0
指定正味財産期末残高	215,750,000	215,750,000	0
III 正味財産期末残高	216,467,840	218,367,789	△ 1,899,949

正味財産増減計算書内訳書
平成27年4月1日～平成28年3月31日

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計						小計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用利益	0	0	0	0	0	0	928,902	928,901	1,857,803
受取利息	0	0	0	0	0	0	928,902	928,901	1,857,803
受取会費	0	0	0	0	0	0	1,228,500	1,228,500	2,457,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	1,228,500	1,228,500	2,457,000
事業収益	300,600	2,265,342	732,180	111,000	0	0	3,409,122	0	3,409,122
参加費等収益	273,600	2,245,342	732,180	0	0	0	3,251,122	0	3,251,122
雑収益	27,000	20,000	0	111,000	0	0	158,000	0	158,000
受取補助金等	0	973,376	120,000	0	0	0	9,352,376	4,780,001	14,132,377
受取地方公共団体補助金	0	973,376	120,000	0	0	0	9,352,376	4,780,001	14,132,377
受取寄附金	30,000	0	0	0	0	0	40,000	0	40,000
受取寄附金	30,000	0	0	0	0	0	40,000	0	40,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	246,983	246,983
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	2,080	2,080
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	244,903	244,903
経常収益計	330,600	3,238,718	852,180	111,000	0	0	14,958,900	7,184,385	22,143,285
(2) 経常費用									
事業費	2,212,577	9,922,834	2,323,399	1,210,019	0	0	15,760,465	0	15,760,465
役員報酬	71,467	326,707	76,572	35,734	0	0	510,480	0	510,480
給料手当	953,627	4,359,437	1,021,743	476,813	0	0	6,811,620	0	6,811,620
臨時雇賃金	182,238	833,085	195,254	91,119	0	0	1,301,696	0	1,301,696
福利厚生費	156,819	716,889	168,021	78,410	0	0	1,120,139	0	1,120,139
会議費	61,097	2,651	0	0	0	0	63,748	0	63,748
旅費交通費	38,140	15,670	306,770	0	0	0	360,580	0	360,580
通信運搬費	47,466	67,128	16,401	111,115	0	0	242,110	0	242,110
減価償却費	22,030	0	0	0	0	0	22,030	0	22,030
消耗品費	266,861	127,778	278,072	0	0	0	764,347	0	764,347
印刷製本費	51,840	120,484	0	388,800	0	0	561,124	0	561,124
賃借料	56,057	256,258	60,061	28,028	0	0	400,404	0	400,404
保険料	1,387	0	1,265	0	0	0	2,622	0	2,622
諸謝金	302,578	1,538,686	23,480	0	0	0	1,864,744	0	1,864,744
支払負担金	0	1,416,140	50,000	0	0	0	1,466,140	0	1,466,140
支払助成金	0	112,000	120,000	0	0	0	232,000	0	232,000
委託費	0	19,440	0	0	0	0	19,440	0	19,440
支払手数料	0	10,481	0	0	0	0	10,481	0	10,481
雑費	1,000	0	5,760	0	0	0	6,760	0	6,760
管理費	0	0	0	0	0	0	0	8,282,769	8,282,769
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	2,041,920	2,041,920
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	2,668,460	2,668,460
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	325,424	325,424
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	758,907	758,907
会議費	0	0	0	0	0	0	0	3,418	3,418
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	27,340	27,340
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	179,494	179,494
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	166,720	166,720
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	10,800	10,800
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	54,540	54,540
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	49,170	49,170
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	1,601,614	1,601,614
支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	339,106	339,106
雑費	0	0	0	0	0	0	0	55,856	55,856
経常費用計	2,212,577	9,922,834	2,323,399	1,210,019	0	0	15,760,465	8,282,769	24,043,234
評価損失等調整前当期経常増減額	△ 1,881,977	△ 6,684,116	△ 1,471,219	△ 1,099,019	0	0	△ 801,565	△ 1,098,384	△ 1,899,949
評価損益等									
当期経常増減額	△ 1,881,977	△ 6,684,116	△ 1,471,219	△ 1,099,019	0	0	△ 801,565	△ 1,098,384	△ 1,899,949
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,881,977	△ 6,684,116	△ 1,471,219	△ 1,099,019	0	0	△ 801,565	△ 1,098,384	△ 1,899,949
一般正味財産期首残高									2,617,789
一般正味財産期末残高									717,840
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産増減額									0
指定正味財産期首残高									215,750,000
指定正味財産期末残高									215,750,000
III 正味財産期末残高									216,467,840

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせない事業又は状況はない。
2. 重要な会計方針
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)によっている。
 - (2) 固定資産の減価償却の方法
定率法によっている。
 - (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	214,000,000	0	0	214,000,000
定期預金	1,750,000	0	0	1,750,000
合 計	215,750,000	0	0	215,750,000

(単位：円)

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本財産				
投資有価証券	214,000,000	214,000,000	0	0
定期預金	1,750,000	1,750,000	0	0
合 計	215,750,000	215,750,000	0	0

(単位：円)

5. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	44,064	44,062	2
合 計	44,064	44,062	2

(単位：円)

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価格	時価	評価損益
28回神奈川県公募債(20年)	100,000,000	107,800,000	7,800,000
政府保証第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券(20年)	100,000,000	109,230,000	9,230,000
第392回大阪府公募債(10年)	14,000,000	14,305,704	305,704
合 計	214,000,000	231,335,704	17,335,704

(単位：円)

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増減額	当期末残高	貸借対照表上の記載 区分
平成27年度豊川市国際交流協会補助金	豊川市	0	14,132,377	14,132,377	-
合 計		0	14,132,377	14,132,377	-

(単位：円)

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳はない。

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載している。
2. 引当金の明細
引当金は計上していないため省略する。

附 属 明 細 書

財産目録

平成28年3月31日現在

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金			
現金			30,000
普通預金	豊川信用金庫/本店	運転資金として	657,960
定期預金	豊川信用金庫/本店	運転資金として	380,000
流動資産合計			1,067,960
2.固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	28回神奈川県公募公債(20年)	公益目的保有財産(50%)であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 管理運営用財産(50%)であり、協会の管理運営に使用している。	100,000,000
	政府保証第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券(20年)		100,000,000
	第392回大阪府公募公債(10年)		14,000,000
定期預金	豊川信用金庫/本店		1,750,000
(2)その他固定資産			
什器備品	チェコ衣装	公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用	2
固定資産合計			215,750,002
資産合計			216,817,962
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金		3月分職員時間外・臨時職員賃金未払分	191,922
前受金		平成28年度日本語教室受講料	158,200
流動負債合計			350,122
負債合計			350,122
正味財産			216,467,840

平成28年度公益財団法人豊川市国際交流協会事業計画

I 事業方針

豊川市国際交流協会は、昭和62（1987）年に発足し、平成2（1990）年に法人化して以来、国際交流、国際親善についての理解と関心を高め、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、諸外国との相互理解と友好親善を図るとともに、多文化共生社会における市民間の相互理解や地域の国際化に尽力してきました。

その間、リーマンショックに端を発した世界的経済危機や東日本大震災の影響などを受け、外国人市民を取り巻く環境も大きく変わりました。

これを受けて、豊川市では、「多文化共生推進プラン（2015－2019）」を策定し、外国人市民を含めたすべての市民が能力を最大限に発揮できるまちになるよう、取組みを進めることとしています。

こうした中で、本協会には、「多文化共生社会の実現」を機軸に外国人市民支援事業を積極的に展開するとともに、国際性豊かな地域社会づくりに貢献するため、その役割を果たしていくことがいっそう求められています。

そのために、事業の円滑な推進はもとより、市民の皆様のご理解とご支援をいただけるよう、ボランティアの皆様とともに多様な事業を展開し、地域の国際化のさらなる進展を目指します。

II 事業計画

平成28年度は、国際理解を深めるための事業の充実、ボランティアへの更なる支援を図るほか、本会の目的を達成するために次の事業を行います。

公益目的事業1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

地域の人々と外国人との交流を通じて、相互理解と親善を深めることにより、国際的な視野を広め、国際感覚の醸成を図り、地域レベルでの国際交流、相互理解、友好親善を推進する。

①七夕交流会（6月）

この地域に在住する外国人及び日本人市民の子どもたちといっしょに日本の伝統的な行事「七夕」にまつわる話やゲームなどを通じて多文化交流を行う。

②お月見交流会（9月）

この地域に在住する外国人市民等を対象に月明かりの中での日本の伝統的な行事「お月見」の話や楽器の演奏などを通じて多文化交流を行う。

③ワールドフェスティバル（11月）

この地域に在住の外国人市民と日本人市民とが、音楽や踊りなどを通してより互いを理解しあえる交流の場を設け、多文化理解を図るための催しを行う。

④折り紙交流会（1月）

この地域に在住する外国人市民等を対象に折り紙を紹介し、日本の文化について交流と理解を深める。

⑤節分交流会（1月）

この地域に在住の外国人市民等を対象に節分について紹介し、ゲームや「豆まき」などを行いながら多文化交流を行う。

⑥ホームステイによる外国人研修生等との交流（随時）

近隣の大学や関係団体が、文部科学省や外務省主催の研修事業により受け入れた研修生（開発途上国の学生や生徒、教職員等）などのホームステイを受け入れ、互いの文化や風俗、生活習慣など相互理解を深める。

⑦豊橋技術科学大学留学生との交流（随時）

豊橋技科大のイベントに参加するなど、これまで以上に交流を深める。

（2）ジュニアフレンドシップ事業

青少年の国際化への関心を深めるため、ゲームや野外活動を通して外国人市民との交流や海外の関係の深い国の子どもたちを市内の歴史・文化施設等へ案内したり中学校などで受け入れを行い、相互理解を深めるための交流を図る。

①マレーシア児童・生徒受け入れ事業

マレーシアの中学・高校生との交流を行い、東南アジアの文化に対する理解を深めたり、日本の文化を紹介したりして、異文化に対する寛容と尊重の精神を養う。

②キッズワールドサマースクール（7月）

青少年の国際社会への関心を高めるため、この地域に在住する外国人を招

き、野外活動やゲームを通じて交流を行う。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・紹介等事業

地域の国際化に関心のある市民を、ボランティアとして募集、登録、育成するとともにホームステイや翻訳・通訳、日本文化体験、諸外国の文化紹介、日本語学習などの要望に対し、登録ボランティアを紹介することにより、地域の国際化を推進するための人材育成と市民活動の活性化を支援する。

①日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録、育成

②協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況や情報交換、ボランティア活動における課題について話し合う意見交換会の開催

③市民まつり「おいでん祭」で、ラテンアメリカの文化や協会の事業、ボランティアの活動などを紹介

④外国人市民をはじめとした市民や関係機関からの要請や問い合わせに対する登録ボランティアの紹介

⑤ボランティアの知識や活動の幅を広げるための、ボランティア研修会や意見交換会の開催

(2) 国際理解講座

人権・環境・多文化・平和など地球規模の課題や地域の国際化についての理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会を行うことにより、国際理解に向けた取り組みを推進する。

①文化講座（年2回）

「どんな国シリーズ」として、県内在住の外国人の方を招き、世界各国の歴史・風俗・習慣や外国の食文化などを紹介し、国際感覚の醸成や国際理解を図る。

②世界の料理教室（年1回）

さまざまな国の家庭料理の作り方などを学び、世界の食文化を理解しながら国際理解を深める。

③国際理解講演会（年2回）

多文化共生や国際理解を深めるための講演会を開催し、地域の国際化や国際感覚を身につけた市民の育成を図る。

④日本語ボランティア養成講座（10月）

日本語を指導するボランティアを目指す人などを対象に心構えや指導方法などの基本的な事項を習得するための講座を開催する。

（3）姉妹都市等の交流

豊川市の姉妹都市等への市民訪問や友好関係のある国へ高校生等を派遣し、異文化体験や交流、相互理解の機会を通して、地域の国際化を推進する人材を育成する。

①高校生海外派遣事業（7月～8月）

豊橋市の姉妹都市であるアメリカのトリード市の国際姉妹都市協会が、トリード大学を会場にして、毎年、夏休みに開催している「トリード インターナショナル アカデミー」に市内在住の高校生を派遣し、他国の同世代の若者とともに英語での講義や各国の文化交流事業に参加したり、大学寄宿舍でともに過ごすなど、それら生活体験を通じて、青少年の国際意識の向上を図り、地域の国際化を推進する人材を育成する。

②マレーシア派遣事業

ここ数年、事業を実施できない状況にあるため、事業実施に向けた具体的な調査研究をする。

③姉妹都市・友好都市との交流の支援

豊川市が実施する姉妹都市アメリカ・キュパティーノ市や友好都市中国・無錫新区との交流事業に際して、必要に応じて、関係部会を中心に支援を行う。

（4）外国語講座

市民を対象に、国際交流を目的とした多言語の外国語講座を開催することにより、国際交流イベントへの参画を促して、外国人住民との相互理解と市民の国際感覚の涵養に努め、国際化に対応できる人材づくりの一助とする。

①英語講座（定員20人）

- ア メアリー先生と楽しく英会話（初級） 5月～8月
- イ やさしい英会話1（初級） 5月～8月
- ウ やさしい英会話2（初級） 9月～12月
- エ 英語で楽しいディスカッション（初中級）12月～3月
- オ 日本を英語で話してみよう！（中級） 12月～3月

②中国語講座（定員20人）

- ア 使える中国語1（初級～） 9月～12月
- イ 使える中国語2（初中級） 12月～3月

③スペイン語講座（定員15人）

- ア 楽しいスペイン語（初中級） 12月～3月

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、安心して日常生活を送ることができるよう支援するために日本語教室を開催する。日本語習得の機会を提供し、日本の文化や制度などの理解を深められるよう日本語の上達を図り、多文化共生社会づくりを推進する。

①日本語教室の開催（通年）

日本語を勉強したい外国人市民がより多くの受講機会を得られるよう、引き続き、平日の午前中の教室と、土曜日の夜間の教室を開催する。また、課外授業やボランティアスキルアップ講座を開催するなど、事業の充実を図る。

②ひらがなしんぶん発行事業（通年）

市内在住の外国人家族を対象に「ひらがなしんぶん」を発行し、漢字の読みや日本語の使い方、また生活にかかわる情報などを提供する。

③第7回日本語スピーチコンテスト（11月）

市内に在住する日本語が母語でない小学生以上の男女に、日本での生活を通しての考え方や伝えたいことを発表する場の提供や、日本人市民が外国人市民

の意見を聞く機会として、日本語スピーチコンテストを開催し、市民相互の交流や国際理解を図る。また、東三河5市の国際交流協会が共催する東三河日本語スピーチコンテストを開催（平成29年1月豊川市予定）し、東三河地域での相互交流や国際理解を図る。

（2）ペクラ事業

市内に在住する外国人の半数以上をラテンアメリカ籍の方々が占めているが、その子どもたちへの日本語教室及び母国語教室を開催し、日本語や母国語で円滑なコミュニケーションをとれるよう学習支援を推進することで、多文化共生社会づくりを推進するとともに、伝統的なダンスを習うことで母国の文化を学び、イベント等で発表することで市民の多文化理解を図る。

①ポルトガル語、スペイン語、日本語教室、教科学習会の開催

②福祉施設の慰問、町内イベントへの参加、他市国際交流協会事業への出演など

（3）外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図り、多文化共生社会づくりを推進する。

①スペイン語、英語、中国語による生活相談及び情報提供

②お巡りさんと話す会

子どもを取り巻く事件や多発する交通事故現状について警察署職員から、事件・事故に遭わないようにするための方策などの指導をしてもらう会を開催する。

（4）翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行う。

①個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図る。

①機関誌「We」の発行

発行回数：年3回（5月、9月、1月）

発行部数：1,400部/回

(2) 多言語翻訳事業

日本語が分からないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市などの行政からの依頼による情報提供や当協会からの情報提供の一部を母国語で提供する。

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供し、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化を促進する。

①ホームページでの情報提供

ホームページを活用し、本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業をより多くの市民に情報提供し協会事業への参加を促すため情報発信を行う。

(4) ざっくばらんに話そう

外国人市民が、日常生活の中で疑問に思っていること、分からないことなどを話す機会を設け、地域の多文化理解を図るとともに、各種機関に対し情報提供することで地域の国際化に寄与する。

①「ざっくばらんに話そう」の開催

過去に開催した結果を基に、外国人市民から分野別に意見を聞く会を開催し、地域の国際化のための課題の調査研究や情報提供を進める。

②先進地等の調査、研究の実施

話し合いの場でもった検討事項や課題などをもとに、地域の多文化共生の推進に向けた調査研究を行う。

収 支 予 算 書 (損益)

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[1,962,000]	1,863,000	[99,000]
基本財産受取利息	1,962,000	1,863,000	99,000
受取会費	[2,500,000]	2,840,000	[△ 340,000]
賛助会員受取会費	2,500,000	2,840,000	△ 340,000
事業収益	[2,879,000]	4,007,000	[△ 1,128,000]
参加費等収益	2,768,000	3,858,000	△ 1,090,000
雑収益	111,000	149,000	△ 38,000
受取補助金等	[16,889,000]	15,511,000	[1,378,000]
受取地方公共団体(豊川市)補助金	16,889,000	14,511,000	2,378,000
受取民間補助金	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取寄附金	[10,000]	10,000	[0]
受取寄附金	10,000	10,000	0
雑収益	[70,000]	163,000	[△ 93,000]
受取利息	2,000	2,000	0
雑収入	68,000	161,000	△ 93,000
経常収益計	24,310,000	24,394,000	△ 84,000
(2) 経常費用			
事業費	[15,800,000]	17,682,000	[△ 1,882,000]
役員報酬	544,000	511,000	33,000
給料手当	7,007,000	6,808,000	199,000
臨時雇賃金	1,438,000	1,434,000	4,000
福利厚生費	1,270,000	1,242,000	28,000
会議費	69,000	57,000	12,000
旅費交通費	276,000	360,000	△ 84,000
通信運搬費	318,000	351,000	△ 33,000
消耗什器備品費	0	89,000	△ 89,000
消耗品費	718,000	670,000	48,000
印刷製本費	444,000	1,049,000	△ 605,000
賃借料	502,000	392,000	110,000
保険料	10,000	2,000	8,000
諸謝金	1,049,000	2,326,000	△ 1,277,000
支払負担金	1,641,000	1,795,000	△ 154,000
支払助成金	330,000	251,000	79,000
委託費	140,000	290,000	△ 150,000
支払手数料	43,000	55,000	△ 12,000
雑費	1,000	0	1,000
管理費	[8,751,000]	8,368,000	[383,000]
役員報酬	2,178,000	2,042,000	136,000
給料手当	2,537,000	2,697,000	△ 160,000
臨時雇賃金	359,000	359,000	0
福利厚生費	789,000	803,000	△ 14,000
会議費	10,000	10,000	0
旅費交通費	59,000	54,000	5,000
通信運搬費	171,000	189,000	△ 18,000
消耗品費	190,000	170,000	20,000
修繕費	10,000	10,000	0
印刷製本費	10,000	15,000	△ 5,000
燃料費	52,000	64,000	△ 12,000
賃借料	1,976,000	1,549,000	427,000
支払手数料	347,000	343,000	4,000

雑費	63,000	63,000	0
経常費用計	24,551,000	26,050,000	△ 1,499,000
評価損失等調整前当期経常増減額	△ 241,000	△ 1,656,000	1,415,000
評価損益等	0	0	0
当期経常増減額	△ 241,000	△ 1,656,000	1,415,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 241,000	△ 1,656,000	1,415,000
一般正味財産期首残高	882,000	1,801,820	△ 919,820
一般正味財産期末残高	641,000	145,820	495,180
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	215,750,000	215,750,000	0
指定正味財産期末残高	215,750,000	215,750,000	0
III 正味財産期末残高	216,391,000	215,895,820	495,180

収支予算書(損益)内訳表

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

公益財団法人豊川市国際交流協会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					小計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	共通			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益	0	0	0	0	981,000	981,000	981,000	1,962,000
基本財産運用利益	0	0	0	0	981,000	981,000	981,000	1,962,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	1,250,000	1,250,000	1,250,000	2,500,000
受取会費	0	0	0	0	1,250,000	1,250,000	1,250,000	2,500,000
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	129,000	2,164,000	475,000	111,000	0	2,879,000	2,879,000	2,879,000
参加費等収益	129,000	2,164,000	475,000	111,000	0	2,768,000	2,768,000	2,768,000
雑収益	0	0	0	0	0	111,000	111,000	111,000
受取補助金等	2,184,000	6,688,000	999,000	725,000	0	10,596,000	6,293,000	16,889,000
受取地方公共団体(豊川市)補助金	2,184,000	6,688,000	999,000	725,000	0	10,596,000	6,293,000	16,889,000
受取寄附金	10,000	0	0	0	0	10,000	0	10,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	70,000	70,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	2,000	2,000
雑収入	0	0	0	0	0	0	68,000	68,000
経常収益計	2,323,000	8,852,000	1,474,000	836,000	2,231,000	15,716,000	8,594,000	24,310,000
(2) 経常費用								
事業費	3,023,000	9,811,000	1,753,000	1,213,000	0	15,800,000	0	15,800,000
役員報酬	121,000	327,000	56,000	40,000	0	544,000	0	544,000
給料手当	1,562,000	4,211,000	715,000	519,000	0	7,007,000	0	7,007,000
臨時雇賃金	321,000	864,000	147,000	106,000	0	1,438,000	0	1,438,000
福利厚生費	282,000	764,000	130,000	94,000	0	1,270,000	0	1,270,000
会議費	69,000	0	0	0	0	69,000	0	69,000
旅費交通費	1,000	265,000	10,000	0	0	276,000	0	276,000
通信運搬費	65,000	201,000	30,000	22,000	0	318,000	0	318,000
消耗品費	196,000	178,000	338,000	6,000	0	718,000	0	718,000
印刷製本費	55,000	0	0	389,000	0	444,000	0	444,000
賃借料	110,000	300,000	55,000	37,000	0	502,000	0	502,000
保険料	2,000	6,000	2,000	0	0	10,000	0	10,000
諸謝金	81,000	868,000	100,000	0	0	1,049,000	0	1,049,000
支払負担金	0	1,591,000	50,000	0	0	1,641,000	0	1,641,000
支払助成金	0	210,000	120,000	0	0	330,000	0	330,000
委託費	140,000	0	0	0	0	140,000	0	140,000
支払手数料	17,000	26,000	0	0	0	43,000	0	43,000
雑費	1,000	0	0	0	0	1,000	0	1,000
管理費	0	0	0	0	0	0	8,751,000	8,751,000
役員報酬	0	0	0	0	0	0	2,178,000	2,178,000
給料手当	0	0	0	0	0	0	2,537,000	2,537,000
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	359,000	359,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	789,000	789,000
会議費	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	59,000	59,000
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	171,000	171,000
消耗品費	0	0	0	0	0	0	190,000	190,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	52,000	52,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	1,976,000	1,976,000
賃借料	0	0	0	0	0	0	347,000	347,000
支払手数料	0	0	0	0	0	0	63,000	63,000
雑費	0	0	0	0	0	0	8,751,000	8,751,000
経常費用計	3,023,000	9,811,000	1,753,000	1,213,000	0	15,800,000	8,751,000	24,551,000
評価損失等調整前当期経常増減額	△ 700,000	△ 959,000	△ 279,000	△ 377,000	2,231,000	△ 84,000	△ 157,000	△ 241,000
評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 700,000	△ 959,000	△ 279,000	△ 377,000	2,231,000	△ 84,000	△ 157,000	△ 241,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 700,000	△ 959,000	△ 279,000	△ 377,000	2,231,000	△ 84,000	△ 157,000	△ 241,000
一般正味財産期首残高								882,000
一般正味財産期末残高								641,000
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額								0
指定正味財産期首残高								215,750,000
指定正味財産期末残高								215,750,000
III 正味財産期末残高								216,391,000

平成28年度公益財団法人豊川市国際交流協会
資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

借り入れの予定：なし

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定：なし